

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦
子育て 施策番号 3-2

局・課名： 子ども青少年局 子ども家庭課

事業名	発達障害者(児)支援事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額		
				31,736	32,672		
事業概要	【目的】 発達相談等の実施により早期発見・早期支援を推進し、就学移行支援を行うことにより、学校での二次的な不適応を予防し、児童の健全育成をより一層推進する。また、不安を持ち、孤立しがちな養育者に対する子育て支援を行い、虐待予防を図る。あわせて、発達障害に対する正しい理解の普及や関係機関の連携強化を図る。 【内容】 発達支援コーディネーターが発達障害児とその家族を支援するとともに、地域の機関からの相談をうけ支援体制のサポート強化を行う。「あいふあいる」の活用を推進し、関係機関の連携を強化する。○4・5歳児発達相談、養育者勉強会(短縮版ペアレントトレーニング)、啓発(ホームページでの情報提供)、個別支援ファイル「あいふあいる」活用セミナー(支援機関対象) 【拡充】 ○キッズサポートセンターさかいにおける発達相談、乳幼児健診、こども園等で超早期に発見される発達障害児に対し、超早期療育を行うとともに、そのノウハウを支援に活かすことができるよう児童発達支援事業所やこども園に配置されている「あい・さかい・サポートリーダー」の実習・研修の場とする。 【今年度要求のポイント】 新たに超早期療育支援を実施するために必要な費用を要求する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
			H ～ H				
		主な要求内容		(単位:千円)			
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
		報酬	14,239	14,652	発達支援コーディネーター(心理士4名)		
		謝礼金	2,254	2,254	発達相談医師2,232千円、「あいふあいる」セミナー22千円		
		費用弁償・旅費	891	930	非常勤通勤費546千円、旅費256千円		
		発達障害児(者)支援事業委託料等	14,000	14,495	発達相談・養育者勉強会・超早期療育・啓発等		
		その他	352	341	消耗品、通信運搬費、会場費、研修参加負担金等		

整理番号 : 14 - 1 - 0090